



## 人身取引被害者のための世界祈祷日「暗闇を超えて」

2022年9月25日(日)

### 聖書の言葉

「盗人が来るのは、盗んだり、屠<sup>ほぶ</sup>ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。」

(ヨハネによる福音書 10:10)

### 問い：この特別な日曜日をなぜ守るのですか？

答え：現代の奴隷制、人身取引とはなんのでしょうか？ 救世軍は現代の奴隷制と人身取引を深く憂慮しています。私たちには神学的、歴史的な命令があります。救世軍は搾取のない自由な世界に向けて歩みを進めるための最も基本的かつ無類の方法は「祈り」であると信じています。現代の奴隷制は、経済・社会・文化・法の状況が複合した結果であり、それにより、弱みに付け込まれた人々の奴隷状態を作り出しているのです。今日、世界中で、現代の奴隷制と人身取引の影響を受けている男性・女性・子どもの数は4,000万人以上とされています。このうち1,500万人以上が強制結婚を、2,400万人以上が強制労働を強いられ、その30%は子どもが占めています。

### 問い：救世軍は世界的にどのような働きをしているのでしょうか？

答え：救世軍は、133の国と地域において現代の奴隷制と人身取引に関する積極的な取り組みをしており、そのために8つの行動目標を掲げています。それは、祈り・防止・参加・保護・告発・協力・方策・証明です。どの軍国でも、どの国でも、その地域でこの働きを進めるために身を捧げている人がおり、皆さんにもぜひ、協力していただきたいのです。私たちは2021年に苦しんでいる9,795人の人々と出会い、共に歩み、取り組んできました。

“

盗人が来るのは、盗んだり、屠<sup>ほぶ</sup>ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。

ヨハネ10:10 ”

**BEYOND 暗闇を  
THE DARK 超えて**

INTERNATIONAL  
DAY OF PRAYER  
FOR VICTIMS OF  
HUMAN TRAFFICKING  
人身取引被害者のための  
世界祈祷日

2022年9月25日(日)

#BeyondTheDark

## 人身取引被害者のための祈りの時（プログラム）の一例

祈り（「祈りの言葉」を参照）

救世軍歌集 144 番「おどろくばかりの」

聖書のメッセージ

祈りの時

司会者「心を合わせて共に祈りましょう。集まった人々と共に、心を合わせて、現代の奴隷制や人身取引の中を生き抜いてきた人々のことを覚え、祈りましょう。」

司会者「他の人々の利益のために取引きされ、奴隷のようにされた、娘たち、息子たちが、暗闇の中から叫んでいる声が聞こえます。」

会衆「私はあなた達と共に立ちます。」

司会者「この世の楽しみのための標的とされた、次の世代、傷つきやすい子供達が見えます。」

会衆「私はあなた達のために戦います。」

司会者「私は前線で戦う人たちと共に立ち、抑圧されている犠牲者たちが解放されるために声をあげ、生き残った人々と共に歩きます。」

会衆「私はあなた達のことを知っています。」

司会者「私は自分の無知や特権や消費力によって、様々な方法で、知りながら、または、知らずに、現代の奴隷制や人身取引の片棒を担いでいたことを悔やみます。」

会衆「私は目隠しをされることを拒みます。」

司会者「私たちが不正に対して共に戦う時に、私の祈りと皆さんの祈りが行動に移されますように。」

会衆「私たちすべての者が光を経験するまでは、私たちは自由ではないのです。」

“

盗人が来るのは、  
盗んだり、  
屠ったり、  
滅ぼしたりするために  
ほかならない。  
わたしが来たのは、羊が命を  
受けるため、しかも豊かに  
受けるためである。

ヨハネ10:10 ”

BEYOND 暗闇を  
THE DARK 超えて

INTERNATIONAL  
DAY OF PRAYER  
FOR VICTIMS OF  
HUMAN TRAFFICKING  
人身取引被害者のための  
世界祈禱日

2022年9月25日(日)

#BeyondTheDark